

青森県横浜町 ～市民団体による菜の花作付け～

地域指定	特定農山村、過疎、振興山村、半島
農業地域類型	中間農業地域
経営耕地面積	1,197ha
耕作放棄地面積	農家165ha 土地持ち非農家207ha 計372ha

数値は2005年農林業センサ概数値

【地域の概要】

本町は、まさかりの形をした下北半島の柄の部分に位置し、陸奥湾に面する南北に細長い町で、馬鈴薯・長いも・人参等の作付けが中心である。

【遊休農地の活用に向けた取組の経緯】

町のシンボルである菜の花畑は最盛期には750haあったが、農家の高齢化や後継者不足により遊休化し、菜の花の作付面積は平成16年には162haと減少している。

平成14年3月、町の有志が中心となって「菜の花トラストin横浜町」を設立し、日本一の菜の花を次世代の子供達に残すため、遊休農地等を活用して、菜の花を守り育てる活動を行っている。

遊休農地の活用に向けた取組（町の有志）

遊休農地活用面積：3.8ヘクタール 取組時期：平成14年度～

平成14年から「休耕地を菜の花畑に変身プロジェクト」と称して、地元の小中学生やボランティアと一緒に整地、耕起、播種、刈取り、菜種打ち等の作業を実施している。20年間放置された農地のため、初年度の作業は開拓をしているようなものであった。

平成17年には、元気な地域づくり・「農地、水」の再生・保全事業（県単）を活用して、新たに遊休農地85aに菜の花の作付けを行っている。

収穫した菜種から搾油を行っており、会員にプレゼントし、残りは会員限定で販売を行っている。



萱の刈取りに挑戦する小学生



遊休農地に作付けされた菜の花